

(案)
令和元年度事業報告書

1 会議の開催

令和元年5月29日(水)に実行委員会第2回総会を開催し、令和2年1月23日(木)に実行委員会第3回総会を開催した。

2 メイン会場

【中央公園(旧広島市民球場跡地を中心とする区域)及びその周辺】

- 令和元年8月から「はなのわ芝生広場」や会場の周囲を囲む立体花壇の「はなのわ」等の整備を進め、令和2年1月には「はなのわステージ」や総合案内所等の仮設物を設置、2月からの花の植付を経て、3月中旬にメイン会場が完成した。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、行催事等の見直しのほか、アルコール消毒液の設置や会場内が混雑する場合の入場制限等の感染防止対策を実施することとし、あらかじめ国の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議構成員等の専門家による感染リスク評価を確認した上で、「ひろしま百景花壇」や「未来に向けた思い出年表」等の展示・出展を当初の計画どおり実施した。

〈行催事等の見直し〉

区分	行催事	実施予定日	対応	対応の説明
公式行事	内覧会(関係者・地元住民)	3月17日	実施	参加者が限定されるため実施
	オープニングセレモニー	3月19日	中止	多数の人が参加するため中止
	開会式	3月19日	中止	多数の人が参加するため中止
	節目セレモニー (来場50万人等)	未定 (3回程度)	中止	多数の人が参加するため中止
	閉会式	11月23日	実施	今後の状況変化に応じて検討
	全国都市緑化祭	4月上旬	中止	多数の人が参加するため中止
主催者催事 (シンポジウム)	第1回都市緑化シンポジウム (広島県民文化センター)	4月18日	延期	屋内で多数の人が参加するため延期 (10月開催で調整中)
	第2回都市緑化シンポジウム (せら文化センター)	6月6日	延期	屋内で多数の人が参加するため延期 (9月開催で調整中)
	第3回都市緑化シンポジウム (庄原市民会館)	9月27日	実施	今後の状況変化に応じて検討
集客イベント	ステージ催事	3月19日	中止	多数の人が参加するため中止
	メディアタイアップ催事	～5月24日		
交流イベント	市町の日	3月19日 ～5月24日	実施	飲食の提供や物販については 中止
	花と緑のワークショップ・展示会	3月19日 ～5月24日	中止	相互接触のおそれがあり中止
	はなのわガイドツアー	3月19日 ～5月24日	中止	相互接触のおそれがあり中止
	フィールド催事(遊び体験)			
	復興催事(被爆樹木ガイドツアー)			
会場運営	飲食の提供	3月19日 ～5月24日	中止	相互接触のおそれがあり中止

(案)

3 協賛会場及びスポットイベント会場

(1) 協賛会場

【国営備北丘陵公園・県立せら県民公園・県立びんご運動公園・県立みよし公園】

- 各協賛会場では、国及び県において、適切な感染防止対策を実施した上で、周辺のスポットイベント会場等の情報発信コーナーを設置するとともに、花壇による花の演出やシンボルディスプレイの設置、各種イベントの開催を準備した。

(2) スポットイベント会場

【県内23市町】

- スポットイベント会場で開催を予定している172のスポットイベントについては、それぞれの特性に応じて各主催者が行催事等の見直しと適切な感染防止対策を実施することとしており、56は中止となったが、32が延期又は一時中断、9が開催され、今後75が開催を予定している。
- 令和元年9月からは、県内一円のスポットイベント関係者が参加する「はなのわ会議」の第1回全体交流会やテーマ別会議を6回開催し、新たな絆を生み出すとともに、スポットイベントのブラッシュアップ（花と緑等をキーワードとした新たな工夫）の検討に取り組んだ。
- スポットイベント同士の連携促進や県内一円で回遊と交流を生み出すことを目的として、会場から次の会場へ生花のバトンをつないでいく「はなのわりレー」の他、はなのわスタンプラリーを実施するとともに、季節ごとのガイドブック春号を発行（1月10日）した。

4 展示、出展

- メイン会場においては、実行委員会が展示する「はなのわ」や「ひろしま百景花壇」のほか、下表のとおり、県内外の自治体、企業・団体及び学校等から、94区画の花壇や庭園の出展をいただいた。
- 「ひろしま未来ガーデン」の作品を対象に、庭園出展コンテストを実施した。

出展名称 (出展場所)	出展団体	区画数(面積)
ひろしまお祭りガーデン (ひろしま風景ゾーン)	県及び県内23市町	24区画(4.9㎡)
にっぽんピースガーデン (希望と思い出ゾーン)	県外の17自治体 県：長野、静岡、岡山、 (5) 鳥取、島根 政令市：札幌、仙台、横浜、 (12) 川崎、相模原、静岡、 浜松、神戸、岡山、 北九州、福岡、熊本	4区画(20㎡) 13区画(13.8㎡)
高校生出展庭園 (希望と思い出ゾーン)	造園系科目のある県内高等学校(西条農業・庄原実業)及び 高校生を対象とする全国造園デザイン コンクール特別賞受賞校(京都府立農芸 高等学校)	3区画(20㎡)
ひろしま未来ガーデン (森のガーデンゾーン)	50の企業・団体	19区画(12㎡) 31区画(20㎡)

(案)

5 行催事

- ・ 令和元年11月30日には、紙屋町シャレオ中央広場において「ひろしま はなのわ 2020 カウントダウンイベント」を実施するとともに、12月10日からカウントダウンボードをそごう広島店に設置した。

6 協働推進

- ・ 県内の保育園・幼稚園の園児たちと指導ボランティアにより、水の都ひろしまゾーンの水辺の花畑や協賛会場（県立びんご運動公園及び県立みよし公園）に「たねダンゴ」の植付を行った。
- ・ 県内の小学校・中学校・農業関係高等学校及び特別支援学校の児童・生徒等と連携して、花苗の育成や植付、花壇やガーデンのデザイン作成等を行った。

7 会場運営

- ・ 植物管理や会場サービスを行っていただくボランティアスタッフの一般募集を行い、約300人を登録し、2月22日から24日にかけて説明会を実施した。
- ・ 移動車（キッチンカー）等を対象とした飲食営業及び花緑販売を行う事業者の一般募集を行い、2月14日に説明会を実施した。
- ・ 会場運営や交通輸送に係る関係者と協議・調整や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた準備を行い、適切に運営した。

(案)

8 観客誘致、広報宣伝

- ・ 県内外からの来場促進と、県内全域で回遊と交流を生み出すことを目指し、下表のとおり、効率的な観客誘致と広報宣伝を展開した。

項目	実施内容等
キャンペーン	県内外で開催されるイベントにおいて、ワークショップの実施やPRグッズの配布などを行い、ひろしまフェアを広くPRした。
イメージ戦略	令和元年10月に、PR大使として「ひろしま はなのわ 2020 フラワーアンバサダー」をSTU48に委嘱した。 また、11月に、公式テーマソングとしてボルノグラフィティの楽曲「一雫（ひとしずく）」に決定した。
広報ツール	平成31年3月に、ポスター・チラシ（第一弾）等を作成するとともに幟旗やPRグッズを作成した。 また、11月に、フラワーアンバサダーなどを起用した新たなデザインのポスター・チラシ（第二弾）等を作成し、令和2年2月にはリーフレットやメイン会場マップを作成した。
メディア等の媒体活用	STU48が出演するPR動画のインターネット配信やデジタルサイネージ上映を展開するとともに、タウン誌への広告掲載等を実施した。
広告物設置	県及び県内23市町庁舎等に加え、広島港、広島バスセンターの協力をいただき、広告物を掲出した。また、県内造園団体加盟企業及び広島花き商業協同組合加盟店舗へ掲出を依頼した。 さらに、各公共交通機関等への広告物掲出を実施した。
情報発信	公式ホームページ及び公式SNS（Facebook、Twitter、Instagram）を活用した情報発信を実施した。 また、令和元年11月にPR動画を作成し、公的媒体や動画配信サイトで配信した。
スポットイベント連携	スポットイベント情報及び写真、周辺観光スポット等を掲載したガイドブック春号を発行（令和2年度に夏号・秋号発行）するとともに、新たなツアー企画を旅行会社等に働き掛けた。
参加協賛	企業・団体から100件の協賛をいただいた。

(案)
令和元年度収支決算について

【収 入】

(単位：円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	差引(C=A-B)	主な内容
負担金	729,837,000	758,108,520	▲28,271,520	・主催者負担金 ・協賛収入
繰越金	86,888,000	86,402,391	485,609	
その他	1,000	4,456	▲3,456	・預金利息
合 計	816,726,000	844,515,367	▲27,789,367	

【支 出】

(単位：円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	差引(C=A-B)	主な内容
総務費	25,773,000	24,046,083	1,726,917	・実行委員会事務局の運営経費
事業費	790,953,000	523,613,215	267,339,785	・メイン会場整備の実施 ・協賛会場及びスポットイベント会場との調整 ・企業、団体等への展示及び出展に係る各種調整 ・カウントダウンイベントの実施 ・催事の計画、調整の実施 ・参加体験による会場作り ・連携推進による花苗の育成 ・メイン会場の運営管理及び交通対策 ・県内外でのキャンペーン活動等の観客誘致
合 計	816,726,000	547,659,298	269,066,702	収支決算差引額(※)は全額翌年度に繰り越す

※ 収支決算差引額 296,856,069 円 (収入決算合計額 844,515,367 円－支出決算合計額 547,659,298 円)

なお、支出の決算額は3月末までに業務完了済みの金額としており、観客誘致・広報宣伝、行催事等実施運営業務(契約期間：令和元年7月3日～令和3年1月29日)の契約額のうち令和元年度分(121,172,740円)は含んでいない。